



学校だより

8・9月号

令和2年8月21日

花言葉は、「感謝」「幸福」「しとやか」。

校長 青木 和裕

夏休みが始まると同時に梅雨が明け、夏らしいぎらぎらと照り付ける太陽、青空、入道雲、……。熱中症とコロナウイルス感染症に気を付けて過ごさなければならなかった、異例の短い夏休み。大きな事故やけがもなく、子どもたちが学校に戻ってくることができたのは、何よりです。



さて、今月は、バラの話をしていきます。二つ橋小学校の西門に入って5mほど歩くと、左側の花壇にバラが2株植えてあります。このバラは、横浜ローズプロジェクトの一環として、地域にお住まいの、一般社団法人横浜すばいす代表の北村克久様のご尽力でいただいたものです。バラの花は、私たちが住んでいる横浜市の花、横浜市のシンボルでもあります。このバラは、「はまみらい」と言って、今からおよそ10年前、横浜の港が開かれて150周年をお祝いしてつくられた、新しい品種のバラです。「広く市民に親しまれ愛される」「日本生まれ、日本語やひらがなの名称がふさわしい」「横浜のみらいの更なる発展を願う」という意味が、「はまみらい」の名前にはこめられています。明るいサーモンピンクで、とてもよい香りがします。夏休み中も、北村様をはじめ、二つ橋サポーター(「ふたさぼ」)の皆様がお世話をしてくださいました。「ふたさぼ」の方と一緒に、早起きをして水やりをしてくれた本校児童もいました。ありがとうございました。普段は、技術員の田中さん、榎本さんが、剪定や水やり等の世話をしています。

「愛」や「美」の象徴とされるバラの花。バラは、花によって赤、白、ピンク、青、黄、オレンジ、緑、紫・・・と、様々な色があり、その色ごとに花言葉があります。ピンクのバラの花言葉は、「感謝」「幸福」「しとやか」です。この「はまみらい」の花のように、生きていることの幸せをかみしめ、「ありがとう」の気持ちを表現できる子どもたちをこれからも育てていきます。

また、本校とその周辺の道路を花でいっぱいにするプロジェクトも動き出しました。(二つ橋小『花いっぱいプロジェクト』) 近日中に、ちらしをお配りしますが、花壇の手入れや水やり等、ご協力いただける方は、ぜひサポーター(はなさぼ)に登録していただければと思います。

8月もまだ半ば、猛暑はまだまだ続きそうです。こまめに水分補給をして熱中症を防ぐとともに、うがい・手洗い・空気の入れ替え、マスク着用、ソーシャルディスタンスで、コロナウイルス感染症から身を守っていきます。お子様の健康観察や体調管理等、ご家庭でのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。